

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24～28℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり0.8トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり84kgの水揚げで、前週の2.6倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり867kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり71kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ウスバハギなどが1日1統当たり669kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり347kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/25～9/29の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、引き続き大和堆付近で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）3日延28隻、総計3,689箱、1航海最高342箱、平均131.8箱。スルメイカ（20～バラ）3,657箱、ケンサキイカ（2立半～3立半）32箱の混獲となった。（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-27号 6県ケンサキイカ情報（令和3年7月号）」「第3-28号 五島灘・五島西沖・対馬東水道・壱岐水道の観測結果」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>